

力走するスパークルお  
おいたの宮崎 (左) =  
山口県美祢市



# 宮崎2位、初の表彰台

自転車ロードのプロリーグ「ジャパンサイクル」第7戦は12日、山口県美祢市でロードレース(118km)が行われた。スパークルに入った。孫崎大樹は3周目に

## JCL第7戦

の記録は次の通り。  
【第7戦】▽個人 ②宮崎 泰史3時間3分29秒④孫崎大樹3時間8分20秒  
【総合】▽個人 ⑩孫崎大樹174分⑪宮崎泰史159分

スパークルおいたの若きクライマー、宮崎泰史が自己最高の2位に入った。宮崎は「レース前のアップから調子の良さを感じていた。ただ、優勝が見えていただけに悔しい」と振り返った。

日本最大級のカルスト台地・秋吉台を舞台に、1周29・5kmを4周する過酷な118kmのロードレース。スパークル勢は第6戦(11日)のクリテリウムで不完全燃焼な結果に終わり、巻き返しに燃えていた。

主役は宮崎と孫崎大樹だった。序盤からメイン集団につけ、レースの流れに乗った。2周目に孫崎が「このままのペースでは逃げ切られる」と先頭グループ

## 最後の急勾配で加速

に追い付き、他チームをけん制。宮崎はその後の集団で足を休め、終盤勝負に備えた。

迎えた最終周、宮崎は足がつりそうになりながらも先頭集団に取り付き、最後の急勾配の上り坂へ。有力選手がけん制し合う中、「チャレンジした」と残り500mでスパートした。必死に足を動かし、1人にかわされたものの、並み居る強豪を抑え2位を守った。

宮崎は距離の長いロードレースで、チーム初の表彰台に立った。今年からプロに転向した新鋭は「次のレースでも、チームに貢献したい」とさらなる高みを見据えた。

(江藤伸彰)